

校区巡回バス運行への取組

～地域のためにできることを！～

大刀洗町 南部コミュニティーセンター【コミュニティーセンター】

センター長 古賀 世章

1. 事業名

大刀洗校区巡回バス運行への取組

2. 事業の目的

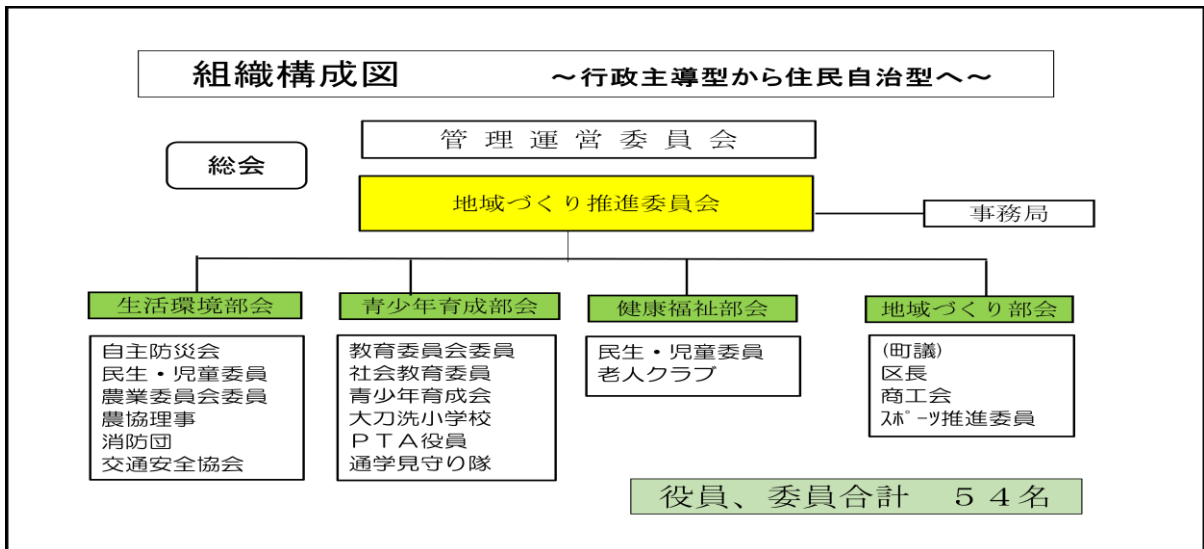
少子高齢化・過疎化が進む中、地域住民からの声として、買物や通院などを目的とした巡回バスの要望が極めて強く、その実現に向けて、地域一体で取り組んだ。

3. 事業の実施主体

大刀洗町南部コミュニティーセンターの「地域づくり部会」が、自主的、そして独自に企画・立案を行い、試行錯誤を繰り返しながら、巡回バスの運行を行っている。

(現在、大刀洗町より10人乗りのライトバンを借用しており、当校区の巡回バス運行に際しては、補助・助成などは受けておらず、行政主導の活動ではない。)

【南部コミュニティーセンターの組織図】



4. 連帯・協力機関・団体等

大刀洗町役場地域振興課、大刀洗町社会福祉協議会生活支援係

5. 事業予算

¥480,000円 (平成30年度、地域づくり活動予算)

6. 実施に至る経緯

平成24年度に南部コミュニティーセンターの管理運営委員会に「地域づくり推進委員会」が設立され、町より活動の権限と財源の移譲がなされた。

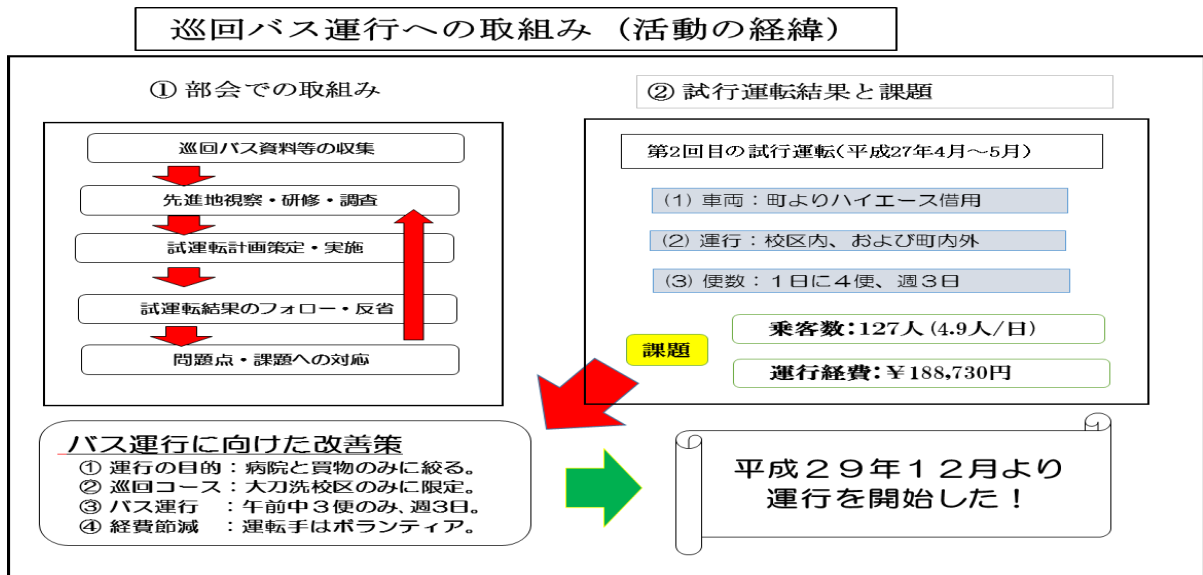
その後、校区コミュニティセンターを活動拠点に、活動の指針である「校区まちづくり推進計画」に基づき、地域住民主体の自主的な取組が開始された。

当校区は、特に「少子高齢化」が進み、住民の移動手段となる「公共交通」が全く無い状況にあり、「地域住民の声」に応えるべく、センターと行政区が一体となった課題解決に向け、知恵を絞り、試行錯誤を繰り返しながら、校区巡回バスの実現のために活動を行ってきた。

昨年12月より校区巡回バスの運行を開始したが、情報の伝達がいまひとつで、利用者が極めて少なかったことを猛省し、クチコミなども含め、地域への情報発信などを徹底することで、最近では、利用・活用の増加につながっている。

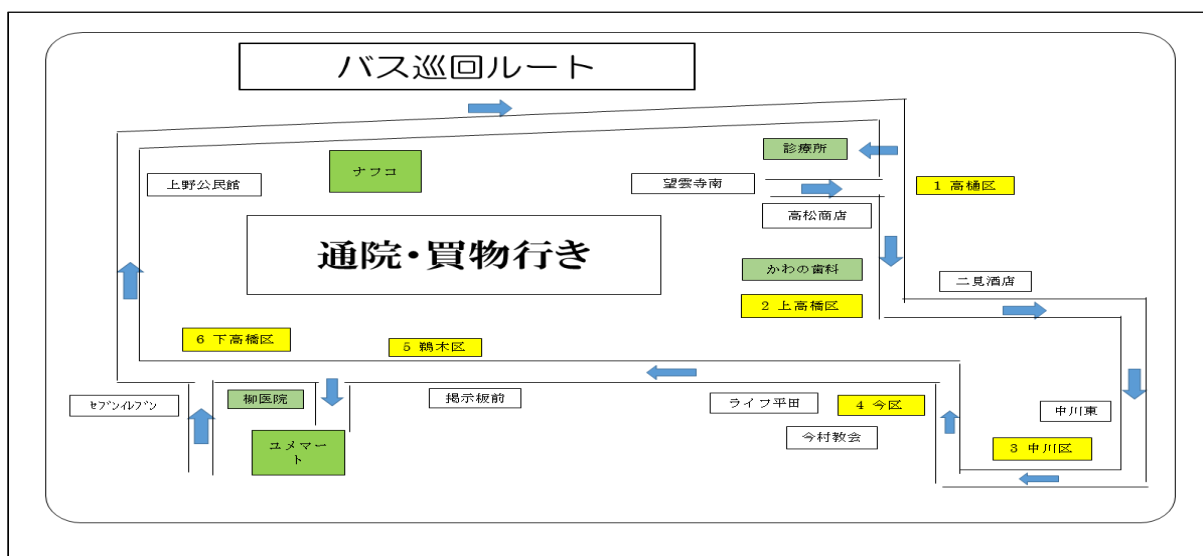
7. プログラム作成の視点

バスの運行事業を行う上で、コミュニティの組織だけでは限界があり、運行ルート、停留所の設定、そしてバス運転手などの人的支援をお願いするため、地域住民ボランティアにも協力を呼びかけながら、趣旨を理解いただくなど、賛同を得てきた。



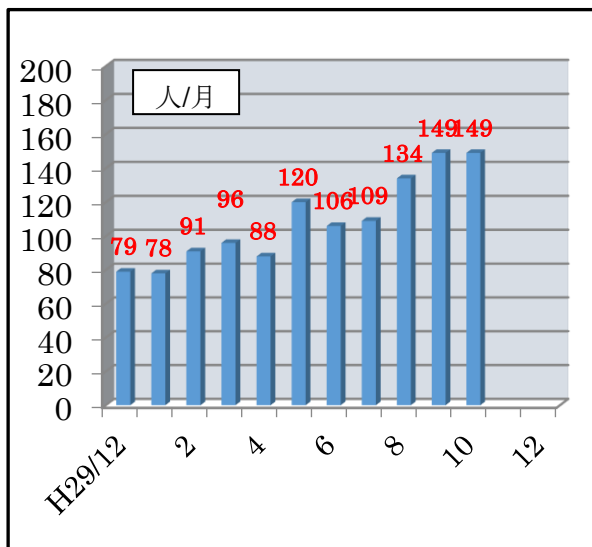
8. 事業の内容

【校区バスの巡回】乗車料金は無料で、校区の6行政区(下図)をくまなく回る。



9. 事業の成果

【月別バス利用者数の推移状況】



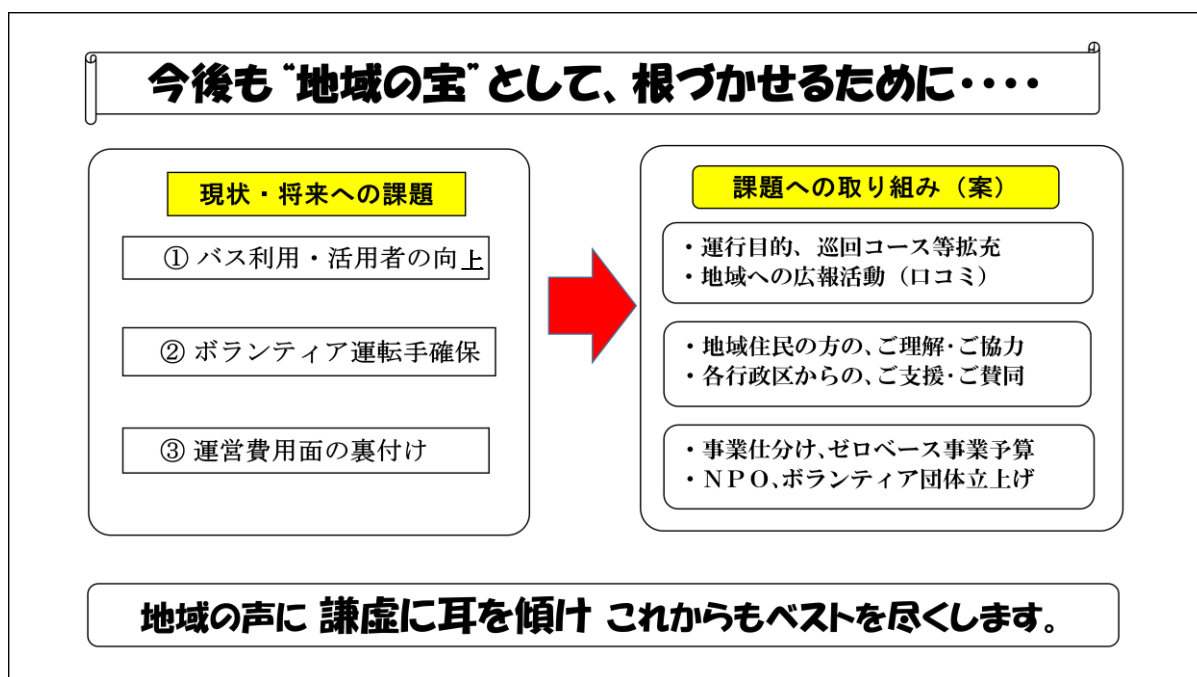
徐々に利用者の方も増加中。

【利用者の声】



お礼の言葉も多数寄せられてきた。

10. 今後の課題と予定



問合せ先

〒830-1222 三井郡大刀洗町大字上高橋 734 番地 1

大刀洗町南部コミュニティーセンター 管理運営委員会 事務局

TEL: 0942-23-2215

FAX: 0942-23-2216

Email: nancom@town.tachiarai.fukuoka.jp